めぐみの森だより　2023年10月号

社会福祉法人　雲柱社　めぐみの森保育園　　☎　03-3480-4448

本当にやっとやっと涼しい風が朝晩と拭くようになってきて、過ごしやすい日も多くなってきました。保育園の子どもたちは運動会を意識しているような…いないような…日々の生活の延長上にある運動会だからこそ、意識せず行けたらいいなと思っています。私たち職員が若干慌ただしくなってきて、事務所でなにやら大きい工作をしていたり、（入退場の音楽で使用するのか…）突然、最新の音楽♪が鳴りだしたりしています。4 年ぶりに制限なしで行う運動会。防犯シールを申し込まれた数が 4 年前とは比べものにならないくらいの枚数のようで、多くの来場が見込まれています。観られる場所には限りがありますので、ぜひ譲り合って子どもたちの笑顔を子どもたちの雄姿をご覧ください。当日お待ちしています。

そんな運動会の季節になると、我が息子が 4 歳の時の保育園での運動会を毎年思い出します。当時、体を動かくすことが大好きな息子でしたが、大勢の前で何かを行うことが極度に苦手でした。入場…かけっこ…（鉄棒やマット運動を行う）サーキット…そしてダンス…全て担任の先生の足につかまり、オール不参加でした。その様子を観た私たち夫婦の想いはご想像にお任せします。

そして 1 年後の 5 歳児の運動会。もちろん簡単に息子の性格なんかは変わらないもので朝、保育園に自転車で向かう途中「いかない！」「（自転車から）おりる」とわめく息子をなんとか保育園に連れていきました。そして運動会が始まると、昨年とは違い、歩いて入場・・・。その後も終始ニコニコで運動会に臨んでいました。その様子を見た私たち夫婦の泪はご想像にお任せします。（笑）

4 年ぶりの運動会、「（運動会に）いかない」と言って家から出ない子、保護者の方と離れて泣いてしまう子、何かの記者会見かと思わせるようなカメラの数に固まる子…もしかしたら、普段はできていたのに緊張でその場にいられず走り回っちゃう子もいるかもしれません。本当に様々な表情が見られるはずです。

子どもたちにとって日々の遊びの延長上に運動会があります。当日だけでなく、運動会当日に至るまでの過程を、また運動会が終わった後の子どもの変化を私自身楽しみにしています。ぜひ保護者の皆様も一緒になってやきもきし、感動してもらえればと思います。そして子ども達、保護者の皆さん、そして私たち職員で 4 年ぶりの運動会をつくり上げられればと思っています。

ちなみに運動会オール不参加だった息子は今や中学2年生。毎日の洗顔→化粧水→乳液を怠らない美容男子になっています。あの頃の話を彼にすることはありませんが、今でも思い出すと目頭が熱くなります。子どもの成長…信じるのみです。　　（　主任　湯澤　伸樹）

①最後の晩餐に食べたいものはこれ！②欲しいものはこれ！③至福の時間はこれ！

① 好きなものはたくさんあるのですが、食に対して、熱い思いがないのでこれっていうものはないのですが、家族で同じもの楽しく食べられたらなぁと思っています。

② 今、毎日一つずつ家にある「最近使ってないな」と思うものを捨てています。だから、物欲をおさえているのですが、あえて一つ欲しいものいえば「雪駄 UNDA」という雪駄です。夏は終わってしまったのですが、今年の夏購入するのを我慢した 1 品で、これを書いていて改めて欲しくなってきました。

③ 大きくなってしまって、なかなか付いてきてくれないのですが、家族みんなで過ごす時間が至福の時間です。